

## 様式第4のり (第4条、第5条関係)

(表)

## 給油取扱所構造設備明細書

事業の概要	1						
敷地面積	2						m <sup>2</sup>
給油空地	3 間口						m 奥行
注油空地	4 有 ( 容器詰替・移動貯蔵タンクに注入 ) ・無						
空地の舗装	5 コンクリート・その他 ( )						
6 建築物の給油取扱所の用に供する部分の構造	階数		建築面積		水平投影面積		
	階		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
	壁	柱	床	はり	屋根	窓	出入口
7 建築物の一部に給油取扱所を設ける場合の建築物の構造	階数	延べ面積	建築面積	壁	柱	床	はり
		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				
8 上階の有無 (給油取扱所以外)	有 (用途 ) ・無 (有の場合、屋根又はひさしの有無 有 ( m ) ・無)						
	9 建築物の用途別面積	項目 用途	床又は壁で区画された部分の1階の床面積		床又は壁で区画された部分 (係員のみが出入りするものを除く。)の床面積 (2階以上を含む。)		
第1号		m <sup>2</sup>					
第2号		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
第3号		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
第4号		m <sup>2</sup>					
第5号		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
第6号		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
計		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
10 周囲の塀又は壁	構造等				高さ	m	
	はめごろし戸の有無 有 (網入りガラス・その他 ( )) ・無						

(給油取扱所構造設備明細書)

- 1 「事業の概要」欄は、給油取扱所を設置する事業所等の事業の概要を記入する。
- 2 「敷地面積」欄は、給油取扱所の用に供する部分の敷地面積を記入する。
- 3 「給油空地」欄は、次により記入する。
  - (1) 間口の部分は、給油空地で道路境界線に接し自動車等が出入する側の長さを記入する。
  - (2) 奥行とは、給油空地で自動車等が出入する側からの奥行の長さを記入する。
- 4 「注油空地」欄は、有無に○を付けるとともに、有の場合は、かっこ内の該当する項目に○を付ける。
- 5 「空地の舗装」欄は、コンクリート以外の場合には、その他に○を付け、かっこ内に舗装材料等を記入する。
- 6 「建築物の給油取扱所の用に供する部分の構造」欄は、建築物の一部に給油取扱所を設ける場合は、給油取扱所に係る部分の面積等を記入する。

建築物の構造は、危険物施設の建築物の構造について記載する。

建築面積、水平投影面積は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記載する。
- 7 「建築物の一部に給油取扱所を設ける場合の建築物の構造」欄は、給油取扱所を含めた建築物全体の構造を次により記入する。
- 8 「上階の有無（給油取扱所以外）」欄は、給油取扱所の上階に給油取扱所以外の用途がある場合には、有に○をつける。また、給油取扱所に上階がある場合、延焼防止の屋根又はひさしの有無及び屋根又はひさし外縁部から上階の外壁までの最短距離を記入する。（屋外給油所を設置する場合は空欄となる。）
- 9 「建築物の用途別面積」欄は、給油取扱所の用に供する部分の建築物の面積のうち、危規則第25条の4第1項各号に掲げる面積を記入する。
- 10 「周囲の塀又は壁」欄は、防火塀又は上階がある場合の防火塀代替の壁の構造、高さ及びはめごろし戸の有無を記入するとともに、はめごろし戸がある場合は、仕様を記入する。

(裏)

固定給油設備等	11 項目 設備	型 式	数	道 路 境 界 線 か ら の 間 隔	敷 地 境 界 線 か ら の 間 隔
	固定給油設備	(1)	(2)	(3) m	(3) m
固定注油設備				m	m
固定給油設備以外の給油設備	12 給油配管及び（ホース機器・給油ホース車（ 台））・給油タンク車				
附随設備の概要	13				
電 気 設 備	14				
消 火 設 備	15				
警 報 設 備	16				
避 難 設 備	17				
事務所等その他火気使用設備	18				
滞 留 防 止 措 置	19 地盤面を高くし傾斜を設ける措置 その他（ ）				
流 出 防 止 措 置	20 排水溝及び油分離装置を設ける措置 その他（ ）				
21 タンク設備	専 用 タ ン ク		可燃性蒸気回収設備	有 ・ 無	
	廃 油 タ ン ク 等		簡 易 タ ン ク		
工 事 請 負 者 住 所 氏 名	22 電話				

- 備考 1 この様式の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 建築物の一部に給油取扱所を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。
- 3 建築物の用途別面積の欄中「用途」とは、第25条の4第1項各号又は第27条の3第3項各号に定める用途をいう。
- 4 専用タンク、廃油タンク等又は簡易タンクにあっては、構造設備明細書（様式第4のホ又は様式第4のへ）を添付すること。

(給油取扱所構造設備明細書)

- 11 「固定給油設備等」欄は、次により記入する。
  - (1) 「型式」欄は、設置する固定給油設備及び固定注油設備（以下「固定給油設備等」という。）型式名を記入する。
  - (2) 「数」欄は、設置する固定給油設備等の型式機種ごとにその設置数を記入する。
  - (3) 「道路境界からの間隔」及び「敷地境界からの間隔」欄は、固定給油設備等のうち、給油ホースの根元から道路境界及び敷地境界までの距離が一番近いものの距離をそれぞれ記入する。
- 12 「固定給油設備以外の給油設備」欄は、給油取扱所に設置する固定給油設備以外の給油設備の種類を記入する。
- 13 「附随設備の概要」欄は、危険物規則第 25 条の 5 で規定する附随設備の種類、設置数等を記入する。
- 14 「電気設備」欄は、配線、スイッチ、照明、電動機等の構造及び防爆ランク等を記入する。ただし、総合的に「電気設備の基準により設置」と記入することも認められる。
- 15 「消火設備」欄は、危険物令別表第 5 の消火設備の区分のうち、設置するものを、例えば「第 3 種泡消火設備（固定式）」、「第 5 種（粉末 A B C 消火器 3. 5 kg）」と記入する。
- 16 「警報設備」欄は、危険物規則第 3 7 条第項で規定する区分により、「加入電話」、「自動火災報知設備」等と記入する。
- 17 「避難設備」欄は、給油取扱所に設置する避難設備の種類及びその概要を記入する。
- 18 「事務所等その他火気使用設備」欄は、給油取扱所の用に供する部分の販売室、事務所、その他の部分において使用する火気使用設備の種類、及び使用場所並びにボイラー等の機種、及び設置場所を記入する。
- 19 「滞留防止措置」欄は、地盤面に傾斜を設ける措置以外の場合は、その他のかっこ内に仕様を記入する。
- 20 「流出防止措置」欄は、排水溝、油分離装置を設ける以外の場合は、その他のかっこ内に仕様を記入する。
- 21 「タンク設備」欄は、次により記入する。
  - (1) 「専用タンク」、「廃油タンク等」欄は、それぞれの区分に応じた設置数及びかっこ書きでそのタンク形状を記入する。

例 30KL×1 基、20KL×1 基、20KL 中仕切（10:10）×1 基
  - (2) 「可燃性蒸気回収設備」欄は、有無に○を付ける。
  - (3) 「簡易タンク」欄は、型式名及び設置数を記入する。
- 22 「工事請負者住所氏名」の欄は、工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入する。

様式第4のり (第4条、第5条関係)

(表)

給油取扱所構造設備明細書

事業の概要								
敷地面積		m <sup>2</sup>						
給油空地		間口				奥行		m
注油空地		有 ( 容器詰替・移動貯蔵タンクに注入 ) ・ 無						
空地の舗装		コンクリート・その他 ( )						
建築物の給油取扱所の用に供する部分の構造		階数		建築面積		水平投影面積		
		階		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
		壁	柱	床	はり	屋根	窓	出入口
建築物の一部に給油取扱所を設ける場合の建築物の構造		階数	延べ面積	建築面積	壁	柱	床	はり
			m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				
上階の有無 (給油取扱所以外)		有 (用途 ) ・ 無 (有の場合、屋根又はひさしの有無 有 ( m ) ・ 無)						
建築物の用途別面積	項目 用途	床又は壁で区画された部分の1階の床面積			床又は壁で区画された部分 (係員のみが出入りするものを除く。)の床面積 (2階以上を含む。)			
	第1号	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>			
	第2号	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>			
	第3号	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>			
	第4号	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>			
	第5号	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>			
	第6号	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>			
	計	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>			
周囲の塀又は壁		構造等					高さ	m
		はめごろし戸の有無		有 (網入りガラス・その他 ( )) ・ 無				

(裏)

固定給油設備等	項目	型式	数	道路境界線からの間隔	敷地境界線からの間隔
	設備				
	固定給油設備			m	m
	固定注油設備			m	m
固定給油設備以外の給油設備		給油配管及び(ホース機器・給油ホース車(台))・給油タンク車			
附属設備の概要					
電気設備					
消火設備					
警報設備					
避難設備					
事務所等その他火気使用設備					
滞留防止措置		地盤面を高くし傾斜を設ける措置 その他( )			
流出防止措置		排水溝及び油分離装置を設ける措置 その他( )			
タンク設備		専用タンク		可燃性蒸気回収設備	有・無
		廃油タンク等		簡易タンク	
工事請負者住所氏名		電話			

- 備考 1 この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 建築物の一部に給油取扱所を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。
- 3 建築物の用途別面積の欄中「用途」とは、第25条の4第1項各号又は第27条の3第3項各号に定める用途をいう。
- 4 専用タンク、廃油タンク等又は簡易タンクにあっては、構造設備明細書(様式第4のホ又は様式第4のへ)を添付すること。